

教育研究評議会議事録

平成27年5月13日（水）
15時30分から16時37分まで
事務局第1会議室

議事

- I 教育研究評議会議事録（4月8日開催）の確認

- II 小白川キャンパス再編統合の基本的な考え方について

- III 協議事項
 - 1 山形大学名誉教授の称号授与について
 - 2 山形大学研究室特別研修生要項の制定について
 - 3 山形大学事故処理規程の一部改正について

- IV 報告事項
 - 1 第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方について（中間まとめ）について
 - 2 第3期中期目標・中期計画(案)の策定状況について
 - 3 平成27年度入学試験実施状況の訂正について
 - 4 平成27年度入試対策の進め方について
 - 5 教員ポイントの部局別削減数について
 - 6 平成27年度科学研究費補助金応募内定状況について

- V その他
 - 1 組織評価について
 - 2 超過勤務の削減について
 - 3 次回開催（平成27年6月17日（水））

出席者

議長	小山清人	(学 長)				
評議員	深尾 彰	安田弘法	大場好弘	阿部宏慈	萩原 均	(理 事)
	北川忠明	元木幸一				
	須賀一好	佐々木正彦				
	玉手英利	脇 克志				
	山下英俊	上野義之				
	飯塚 博	森 秀晴				
	夏賀元康	村山秀樹				
	久保田功					
	渡邊洋一					
監 事	斎藤亮一	山下 貴				

欠席者 なし

列席者 総務部長 企画部長 財務部長 施設部長 教育・学生支援部長
小白川キャンパス事務部長 医学部事務部長 工学部事務部長
農学部事務長 総務課長 財務課長

I 教育研究評議会議事録（4月8日開催）の確認

議長から、前回4月8日(水)開催の本会議の議事録(案)について、医学部からの意見に基づき、配付資料のとおり修正を行った旨説明があり、他に意見等が無く当該修正案を確定した。

II 小白川キャンパス再編統合の基本的な考え方について

議長から、本件について、小白川キャンパスの人文学部、地域教育文化学部及び理学部の再編に関しては、三学部の体制を維持しながらも、将来的にゆるやかに統合する方向で体制を整えることとし、具体的には資料10のとおり改組を行っていくこととしたい旨委細説明があった。

次いで、本件に関して、概ね次のような質疑応答があった。

- ・地域教育文化学部の入学定員を振り替えて、農学部の食品・応用生命科学コースとともに新しいコースを設置する件は、分散キャンパスの中に分散学部をつくるイメージで、運用上非常に難しい気がする。(夏賀評議員)
- ・運営上の課題等を含め、今後具体的な検討をお願いしたい。(議長)

- ・再編後の入学生の受け入れ開始時期はいつからか。(夏賀評議員)
- ・平成29年度からの新入生受け入れで進めていきたい。(議長)

- ・具体的な計画や体制等の検討期限はいつまでか(夏賀評議員)
- ・今夏までにカリキュラム等の具体案を堅め、文部科学省との検討に入る。教職免許課程の事前準備は、来年3月末までに必要書類を文部科学省に提出することとなる。
(議長)

- ・今回の地域教育学部(仮称)の案では、小学校教諭一種免許状だけを与えるというものであるが、現在の児童教育コースが小学校教諭一種免許状しか与えないということスタートした際に、非常に不評で志願倍率も低迷した。
(佐々木評議員)
- ・受験生や高校の進路指導の現場からみれば、小学校教諭一種免許状しか取れないということでは魅力が感じられないと思われる。主要な教科の中学校教諭一種免許状も取れなければ、地域ニーズに応えることができないのではないか。
(佐々木評議員)

Ⅲ 協議事項

1 山形大学名誉教授の称号授与について

議長から、各部局から合計15人の推薦がありその被推薦者全てが本学に教授として20年以上勤務し、教育、学術、大学運営及び社会貢献上の功績があったもの(山形大学名誉教授称号授与規程第2条第1号該当者)に該当する旨、資料1のとおり説明があった。

次いで、各人の推薦理由等について同資料に基づき説明の後、15人を一括承認願いたい旨提案があり、審議の結果、全会一致で了承された。

なお、当該資料については、個人情報が含まれるため非公表とし、審議後、回収された。

2 山形大学研究室特別研修生要項の制定について

安田評議員から、本件については、大学間交流協定においてインターンシップ等短期間に外国から受け入れる学生の身分を保障し、学生交流を活発化させる目的で制定するものである旨説明があり、資料2に基づき委細説明があった。

次いで、本件に関して、概ね以下のような質疑応答があった。

- ・協定を締結していないところでも適用可能か。(上野評議員)
- ・可能である。(安田評議員)
- ・国際交流の実績を作り、協定締結につなげていきたい(議長)

上記の質疑応答後、議長から、本件について提案があり、審議の結果、原案どおり了承された。

3 山形大学事故処理規程の一部改正について

阿部評議員から、本件については、キャンパス構内で事故があった場合の事後報告の手続等に関し、その取扱いを整理することに伴い、所要の改正を行うものである旨、資料3に基づき委細説明があった。

次いで、議長から、本件について提案があり、審議の結果、原案どおり了承された。

IV 報告事項

1 第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方について（中間まとめ）について

萩原評議員から、本件については、文部科学省「第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方に関する検討会」における中間まとめの公表があった旨及びその内容に関して、資料4に基づき委細報告があった。

2 第3期中期目標・中期計画(案)の策定状況について

深尾評議員から、本件については、山形大学将来構想に基づき評価分析室にて素案作成を行ってきた旨説明があり、文部科学省との事前相談内容及びその指摘事項に関して、資料5-2に基づき報告があった。

次いで、同評議員から、文部科学省からの指摘を受けて評価分析室にて修正を行った資料5-1について、各部局へ再度意見照会を行う旨及び今後のスケジュールについて説明があった。

3 平成27年度入学試験実施状況の訂正について

大場評議員から、本件については、4月8日の本会資料について理工学研究科博士後期課程有機材料工学専攻の入学者数が1名減の訂正があった旨、資料6に基づき報告があった。

次いで、同評議員から、国立大学法人評価委員会の大学院における入学定員充足率の評価基準は、入学定員の90%以上ということもあり、特に大学院後期課程については、秋入学で定員充足を図っていただきたい旨依頼があった。

4 平成27年度入試対策の進め方について

大場評議員から、本件について前年度の入試対策の結果を踏まえ、今年度取り組む5つの重点対策に関して、資料7に基づき委細報告があった。

5 教員ポイントの部局別削減数について

阿部評議員から、本件については、平成27年1月14日（水）開催の役員会及び本会で確認した各部局長に配分する教員ポイント削減数に関して、平成27年度から平成33年度までの7年間で資料8のとおり部局別年度別の削減数として整理した旨説明があった。

次いで、本件に関して、概ね以下のような質疑応答があった。

- ・年度毎に資料に示すポイント数に収めなければならないのか。(須賀評議員)
- ・そのようにしていただきたい。(阿部評議員)

- ・本学の大学改革及び機能強化を進め、その評価で国からの運営費交付金の配分を確保する方法もある。人件費を削減していくこととなれば附属病院運営にも影響が出る。外部資金の獲得及び研究費削減等の取り組みにより、その時の財政事情に応じ、途中で本計画を再考していただきたい。
(山下評議員)
- ・改革及び機能強化を確実に進める中で、そのように心掛けていきたい。(議長)

- ・全学一律の対応は困難であり、大学改革にも影響が出る恐れがあり、メリハリのある対策をお願いしたい。また、保健管理センター等、減らせない部局にも配慮願いたい。(久保田評議員)

- ・今回の小白川3学部の再編成案においては、理学部は入学定員の増となっているが、本計画では教員ポイントが削減されることとなる。また、小白川地区が、基盤教育等の全学機能を担っている点等も、きちんと評価し再考していただきたい。
(玉手評議員)
- ・今後、そのような点も含め検討していきたい。(議長)

- ・教育組織の再編に係る検討と教員ポイント削減の関係が不明。本当に削減してよいものなのか。(飯塚評議員)

- ・財政運営上、教員ポイントの削減は必要なものであり、教育組織の再編に係る検討においても、その点を踏まえて検討していかなければならない。(議長)

上記の質疑応答の後、議長から、本資料に示す削減数については厳しい数字案であるが一般運営費交付金の削減状況等も注視しながら対応を検討していただきたい旨、付言があった。

6 平成27年度科学研究費補助金応募内定状況について

深尾評議員から、本件について、平成27年度科学研究費補助金応募内定状況について、資料9に基づき報告があった。

また、同評議員から本資料を参考にいただき、来年度の科学研究費獲得に関して戦略を練っていただきたい旨、付言があった。

IV その他

1 組織評価について

玉手評議員から、本件について、今回実施する部局単位の総量ではなく、教員数、エフォートを考慮して評価された方が良いのではないかと、また、エフォート配分は部局毎で異なり、その点を配慮した上で、組織評価がなされることが重要であり、学長と理事のマネジメント能力でそういう配慮がなければ、今後、組織改革を進める中で教員から前向きな協力を得られないのではないかとこの意見があった。

2 超過勤務の削減について

議長から、本件について、労働基準監督署からの是正勧告について、4月分実績については労使協定内になり、5月以降も引き続きご理解とご協力をお願いしたい旨、依頼があった。

次いで、本件に関して、概ね以下のような質疑応答があった。

・ルールを遵守する中で、ストレスがかかっている人に対するケアが急務である。保健管理センターのカウンセラーを充実させていく等、事前にケアをしていくことも重要である。時間管理だけでなく、メンタルの部分も是非検討をお願いをしたい。

(山下評議員)

・保健管理センター所長が産業医で全体の職員の健康状態を見ていただいている。また各部局では、健康上問題がある人については、ヒアリングをして対処する等の対応をお願いしたい。(議長)

3 次回開催（平成27年6月17日（水））

次回は、平成27年6月17日（水）に開催することとなった。

配付資料

前回（平成27年4月8日（水）開催）議事録

資料10 小白川キャンパス再編統合の基本的な考え方

資料1 山形大学名誉教授被推薦者名簿

資料2 山形大学研究室特別研修生要項の制定について

資料3 山形大学事故処理規程の一部改正について

資料4 第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方について（中間まとめ）について

資料5-1 第3期中期目標・中期計画（素案）

資料5-2 第3期中期目標・中期計画（素案）に関する事前相談メモ

資料6 平成27年度入学試験実施状況調（大学院）

資料7 平成27年度入試対策の進め方について（案）

資料8 教員ポイントの部局別削減数

資料9 平成27年度科学研究費補助金応募内定状況（新規＋継続）